

日高高等学校定時制

実施日時	令和2年8月24日(月)、11月30日(月)
参加者	生徒26名、教職員9名、地域住民等0名 計35名
実施内容	火災避難訓練、地震体験、津波を想定した避難訓練と避難経路確認 ライフジャケット着脱訓練

ねらい

- 1、災害についての知識をつける
- 2、災害から命を守る行動力を養成する
- 3、災害から生き抜く力を身につける

主なプログラム

- 1、火災、津波に対して各状況を設定
避難訓練・避難場所の確認を行う。
- 2、地震体験車による体験訓練
- 3、ライフジャケット着脱訓練

概要

- 1、東南海トラフ地震に対する備えと
地震体験車を体験し、被災時にとるべき行動を確認する。
- 2、学校で災害が起こった時の避難場所までの経路を確認するとともに、家族内での避難場所や連絡方法を確認した。

参加生徒感想文

- 1、地震体験車は怖かった。これが不意に起こったら、冷静な行動ができるか心配になった。
- 2、どこで災害に遭うか分からないので、家族との確認が大事だと思った。ちゃんと確認したい。



成果と課題

【成果】

- 地震体験車による震度6を毎年、体験しているが、地震の怖さとその後に来る津波に対する認識が高まり、継続的に行う必要性を感じた。
- 生徒たちは、学校で災害があった場合のとるべき行動だけでなく、日常生活で災害があった場合にとるべき行動を確認できただけでなく、家族との連絡方法や避難場所も確認できたようである。

【課題】

- 今年度は、コロナ禍の影響で、御坊消防署隊員による救急救命講習が中止になり、また、感染予防のため、アルファ米等の炊き出し訓練を実施できなかった。
- 全日制は、地域と連携した大規模な防災訓練、学習をしており、全日制との連携も考えてみたい。
- 今年度は、授業時間の確保のため計画の変更や中止を余儀なくされ、十分な防災訓練や生徒への意識付けができなかった。